

「個人投資家育成対策会議」第2回会合 議事要旨

日 時	平成15年6月23日(月) 午後2時30分～4時
場 所	本協会第1会議室
議 題	「検討事項の進捗状況」(中間とりまとめ)の取りまとめについて

議事内容

1. 各部会等からの報告について

- ・ 調査や分析等を行い検討する部会、広報に関する部会、個人向けサービスに関する部会における検討状況及び各団体に検討を要請していた項目に関する各団体における進捗状況について報告が行われた。

2. 意見交換

- ・ 投資信託について、「投資信託協会のウェブサイトによる投資家への情報提供について検討を行う」旨が述べられているが、パフォーマンス等、商品の比較ができるような情報も含まれているのか。

現在、投資信託協会のウェブサイトで基準価額の履歴が分かるシステムや手数料の一覧表等を公表しており、投資家の意見等を踏まえて改善を加えている。

- ・ 政府保有株の放出の際、初めて証券投資をする者にその何割かを販売する等の工夫により、株主数が増えると思う。なお、株主数が増えるときの経費は、上場会社にとって負担になるので、その負担を解決できないか。
- ・ 個々の株式を長期的に保有してもらうには、配当方針や配当税制の改善等によって長期保有してもらうような方策が一番必要であると思うので、そういった観点からの分析も必要であると思う。
- ・ ラップ口座を利用する顧客は、証券会社の営業員を相当信頼しているケースが多いと思う。米国のように、色々な種類のラップ口座を認めることが個人投資家拡大の1つの手段になるのではないか。
- ・ 証券市場の優れた機能が日本経済の活性化につながっていくという意味を込めた市場のPRを積極的に行ってほしい。その市場に参加することの意義を個人が感じ取るということも重要であると思う。
- ・ 個人の裾野を広げるということは、即効性よりも、個人が将来知識を身に付け、金融資産も手にしたときに、円滑に証券市場に入ってくるという側面から重要であると思う。1億2千万人がこぞって株式投資を行っているということが究極ではないと思う。
- ・ インサイダー取引規制については、法律論とは別に、例えば取引所のウェブサイトに重要情報を掲載し、公知の事実とすることにより解決を図る等、いろいろ工夫する必要があると思う。

インサイダー取引規制の問題は、証券界だけではできない話なので、産業界等にもお願いしながら、正しい理解の周知徹底を図る努力をしていきたい。

- ・ 銀行で投資信託が売れているようだが、同じ商品を、なぜ証券会社ではなく銀行から買うのかという分析をするとよいのではないか。
- ・ 確定拠出年金というチャンネルを通して個人が証券市場に参加できるようになれば、受託者責任の面から投資家教育は必然のものとなるので、個人の証券市場への参加の重要なチャンネルとして、確定拠出年金を後押しするような施策が必要ではないか。

3. まとめ

- ・ 各部会からの中間報告について了承し、「個人投資家の幅広い市場参加に向けて」（検討事項の進捗状況（中間とりまとめ））として取りまとめたうえ、平易な表現に取りまとめた記者会見用資料とともに公表することとなった。
- ・ 本会合の議事要旨は、日証協の責任で取りまとめ、日証協のホームページに掲載することとなった。

以 上

本議事要旨は暫定版であるため、今後修正があり得ます。